

地方の気候行動に関する G7 ラウンドテーブル エグゼクティブサマリー (仮訳)

- 2023 年 10 月 5 日～6 日、環境省、国土交通省、イクレイ（ICLEI）-持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会、G7 の都市連合（アーバン 7）、（公財）地球環境戦略研究機関の協力のもと、「地方の気候行動に関する G7 ラウンドテーブル」が開催された。G7 の政策担当者、国連ハビタット（UN-HABITAT）、経済協力開発機構（OECD）、ICLEI、世界市長会議の各国政府から 70 名以上の参加者とオブザーバーが参加した。
- 参加者は、G7 メンバー間の相互学習と協力のための有用なプラットフォームとして、このラウンドテーブルを歓迎し、その下での更なる活動への期待を表明した。また、参加者の範囲を、様々なステークホルダーやパートナー、G7 以外の国々の参加に拡大することも提案された。
- 円卓会議での議論の要点は以下の通り
 - 地方の気候行動は、ネットゼロ目標を達成する上で極めて重要であり、国や国際的な支援によってさらに強化される必要がある。
 - 地方の気候行動は、汚染防止、生物多様性、循環型経済、経済成長など、複数の都市課題に取り組み、相乗効果を生み出すことで、好循環を強化する。
 - 気候資金をいかに都市に導入するかが最大の課題のひとつである。ブレンド・ファイナンス、官民共同の資金調達イニシアティブ、トランジション・ファンド、保証制度などのメカニズムを使って、公的資金と民間資金を活用することが、解決策の例として挙げられた。このような資金に関するイニシアティブを支援するために、G7 メンバーによって多くのプログラムが設立されている。
 - 国内または国際的な都市ネットワークを通じての知識共有は不可欠である。また、地域を超えた連携や意欲的な活動のスケールアップも奨励されるべきである。
 - 地方における野心の引き上げ、対策実施を強化するためのその他の取組として、包括的アプローチ、技術支援、国家レベルでのガイダンス、地域のリーダーシップ、パートナーシップ、異なるレベルのアクターの関与（マルチレベルの気候変動対策）、デジタル・トランスフォーメーションなどが共有された。